

教育長 就任挨拶



高島市教育委員会 教育長 上原 重治

この度、教育長の重責を担わせていただくことになりました。よろしくお願ひ申し上げます。

努力したいと思えます。さて、これからの社会は、一生涯にわたって学び続けなければ、生き抜くことが難しい、そんな変化の激しい時代となることが予想されます。そこでは、学校教育と社会教育がそれぞれの機能を充実させることともに連携・融合を図って、生涯にわたって学び、学んだことを社会のために役立てようとする人を育てる「高島の志の教育」を推進していくことが重要となってきます。

高島市教育委員会 第4回 定例会報告 4月24日開催

- 【議事】
・高島市立学校の学校薬剤師の委嘱について
・高島市学校給食共同調理場運営委員会規則の一部を改正する規則案
【報告事項】
(1) 高島市教育委員会教育長職務代理者の指名について
(2) 高島市立公民館職員の任命について
(3) 高島市子ども読書活動推進協議会委員の委嘱等について
(4) 高島市学校給食運営委員会委員の委嘱等について
(5) 高島市スポーツ推進審議会委員の委嘱等について
(6) 高島市立学校結核対策委員会委員の委嘱等について
(7) 高島市教育支援委員会委員の委嘱等について
(8) 高島市少年補導協力員の委嘱等について
(9) 高島市少年センター運営委員会委員の委嘱等について
(10) 平成29年度高島市立学校 学校評議員について
(11) 平成28年度高島市立学校 学校評価について
(12) 市内小学校いじめ事案に係る対応について

わたし流、
ヤンかしまの暮らし。

「可愛がられ力」

地域おこし協力隊 太田 彩

田舎のコミュニティに入っていくうえで、大切な力は何だろう？と、ふと考えた。私の出した答えは「可愛がられ力」だ。

コミュニティの中核にすぐさま介入しようとしても、なかなか上手くいかない。他所の人が偉そうに何言ってんだよ！！ってなるよね。私も地元でそんなことしてる移住者がいたら倦厭しちゃう。

そこで「可愛がられ力」。知らない・できないことは恥ずかしいことじゃない。困っていたら世話焼

たかしまへ移住（I・J・Uターン）された方に、高島の暮らしで感じることをお伝えいただくコーナーです。

きさんが助けてくれるものです。どんどん助けてもらいましょう。世話焼きさんを通してコミュニティに入りやすくなるはず。その代わりに、できることは精一杯しなければいけませんよ。イメージとしては、弟子入りして修行を重ね、一人前になるって感じ。



コミュニティの仲間入りをする、この課題をクリアできれば楽しい田舎ライフが始まるはず！

☎ 市民協働課（定住推進室） ☎ (25) 8526

高島市民病院
びょういんだより

☎ 地域医療連携室 ☎ (36) 0220 (代)

4月から地域医療連携室の
室長を務めます

末武 美里



高島市民病院に勤務して26年になります。そのほと

んどを病棟で勤務し、入院患者さんの療養生活を支えてきました。また、災害支援ナースとして被災地で活動をしてきました。これまでの経験を活かし、病院、そして地域の顔として連携が取れるように頑張っていきたいと思えます。

ぜひぜひご一緒をお願いします。

平成29年度 新任医師の紹介

【産婦人科医師】

久保 卓郎



専門分野：産婦人科全般
経歴：滋賀医科大学医学部を卒業後、諏訪赤十字病院、滋賀医科大学、野洲病院、大津市民病院、佐久総合病院（長野県）を経て、滋賀医科大学にて医師として就任、現在は当院にて産婦人科医長を務める。

滋賀医科大学と連携協力して、産科では安心安全なお産の体制づくりに尽力し、婦人科では傷の小さな腹腔鏡手術も開始します。高島市の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室を「存知ですか？」

看護師とMSW（医療ソーシャルワーカー）が中心となり、入院に関することや治療による副作用、治療費に関することなど、どのようなことでもご相談いただけるのが地域医療連携室です。



現在、高島市の人口は減少し続け、65歳以上の高齢者の方の占める割合は上昇しています。しかし、この地域には「お達者」という言葉が根付いており、元気な高齢者の方が多くおられます。医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていけるように、地域全体で医療を支えるための「地域完結型医療」を推進しています。そのためには、医療・福祉・介護の連携が欠かせません。

赤ちゃんがぐずって
なかなか寝てくれない!!



「ミルクをあげたばかりなのに」「おむつもめれていないのに」「寝かしつけようとしてもなぜか赤ちゃんが1時間も2時間たっても寝てくれない。ぐずぐずと眠たそうにしているのに...。こんな寝ぐずりに向き合う親は、なんとか寝かしつけようと必死になり、時にはイライラしたりして心身共にへとへとになることも少なくありません。

●「寝ぐずり」の時期

寝ぐずりとは、赤ちゃんが眠たいのに眠れなくてグズグズする状態をいいます。赤ちゃんは大人のようにすんなりと眠りにつくことができません。寝る前にたくさん泣いて、体力がなくなって眠りにつくといった赤ちゃんも多くいます。

●寝ぐずりの始まり・終わりの時期

生後6か月頃よくみられますが、生後1、2か月といった早い

時期から始まる子もいるようです。終わる時期も1か月で終わる子もいれば、半年以上続く子もいます。個人差はありますが通常は1〜2歳で終わることが多いようです。

○対処法

・添い寝をして安心させる。

・天気の良い昼間にたくさん身体を使って遊ばせる。

・程よい疲れや脳への刺激から、気持ち良く眠りに入れるようになりませう。

・イライラした気持ちが伝わらないよう親もリラックスする。

・寝かしつけを交代したり、赤ちゃんを離れる時間を作ったりしてリフレッシュし、落ち着いた対応するようにしましょう。

☎ 子ども家庭相談課 ☎ (25) 85117